brother

本書をよくお読みになって製品をご利用ください。

ネットワーク設定説明書

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、下記お客様相談窓口（コールセンター）にお気軽にお問い合わせください。

お客様相談窓口



0570－031523

全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。

受付時間：月～金　9：00 ～ 20：00
　　　　　土　　　9：00 ～ 17：00

※上記番号がつながりにくいときは、「052－824－5149」にご連絡ください。

日・祝日および当社（ブラザー販売(株)）休日は休みとさせていただきます。

ブラザーソリューションセンター：http://solutions.brother.co.jp/

Version A

目　次

本書のレイアウトについて

大見出しです。

中見出しです。

小見出しです。

操作手順です。

操作手順を補足する手順画面やイラストです。

注意項目です。

メモです。

ネットワーク PC-FAX 機能を使う

アプリケーションから印刷を実行し、「Brother PC -FAX」を選ぶと PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、本機の取扱説明書「パソコン活用編」をご覧ください。

ネットワーク PC-FAX 機能を使う準備

PC-FAX の関連付け

1. ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順に選びます。
   「プリンタ」ウィンドウが表示されます。
2. ブラザー PC-FAX のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. ［ポート］タブをクリックし、使用するポートを選びます。
   複数台の MFC をご使用の場合は、ネットワーク PC-FAX に使用するモデル名をここで指定してください。
   わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

   ● Windows®98/98SE の場合は、［詳細］タブをクリックし、使用するポートを選びます。
4. ［OK］をクリックします。
   これで設定は完了です。

ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本機のネットワークインターフェースが表示されます。

メモ 現在設定されているノード名やイーサネットアドレス (MAC アドレス) を調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.3-1-15をご覧ください。

第1部 Windows編 / 第1章 基礎 / 第2章 プリンタ / 第3章 PC-FAX / 第2部 Macintosh編 / 第1章 基礎 / 第2章 プリンタ / 第3章 PC-FAX / 第3部 こんなときは / 第1章 設定変更 / 第2章 IPアドレス / 第3章 トラブル対応 / 第4章 付録

3-3-3　ネットワーク PC-FAX 機能を使う

参照ページです。
クリックすると、関連する情報が記載されているページに移動します。

ページ番号です。

大見出しを示します。

インデックスです。
現在の章を青色で示します。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本書で使われているマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

(注意マーク)	本機をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
メモ	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

ボタンについて

本書では、文中の説明で MFC-610CLN の操作パネルのボタンを使用しています。
他の機種をお使いの場合は、該当するボタンに読み替えてください。

商標について

brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Apple のロゴ、Macintosh®、Mac OS®、iBook® は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
Ethernet は Xerox Corporation の商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

はじめに

概要

本機のネットワークインターフェースを利用して LAN または WAN に接続し、ネットワーク上のパソコンから本機で原稿のスキャンや印刷ができます。
付属のソフトウェア BRAdmin Professional を使用すると、ネットワークインターフェースや PC-FAX 送信などの設定を簡単に行えます（Windows® のみ）。本書は、本機をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

特長と機能

ネットワークプリンタ機能

（Windows®98/98SE/Me/2000/XP Mac OS 8.6 ～ 9.2 Mac OS X 10.2.4 以降）

本機のネットワークインターフェースは TCP/IP に対応しています。TCP/IP の印刷プロトコルを使用して、ネットワーク上のパソコンから直接印刷できます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能

（Windows®98/98SE/Me/2000/XP Mac OS 8.6 ～ 9.2 Mac OS X 10.2.4 以降）

アプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信時に便利です。

ネットワークスキャン機能

（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP Mac OS X 10.2.4 以降）

白黒またはカラーでスキャンした画像データを、ネットワーク上のパソコンまたは本機へ直接保存できます。
詳しくは、「パソコン活用編」をご覧ください。

ネットワークメディアカードアクセス機能

（Windows®98/98SE/Me/2000/XP Mac OS 9.x Mac OS X 10.2.4 以降）

本機に挿入したメモリーカードにネットワーク経由でアクセスできます。

管理ユーティリティ BRAdmin Professional

（Windows®98/98SE/Me/2000/XP）

付属のソフトウェア BRAdmin Professional を使用すると、本機のネットワークインターフェースや PC-FAX などの設定を簡単に行えます。

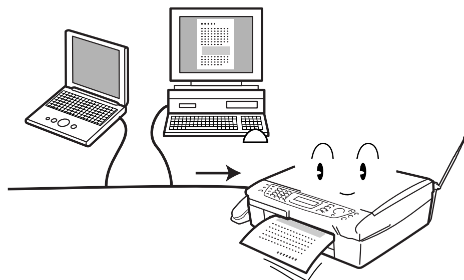
やりたいこと目次

各機能をご利用になる前に◇取扱説明書の「第 1 章　ご使用の前に」を必ずお読みください。

ネットワークプリンタとして使う

本機をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。

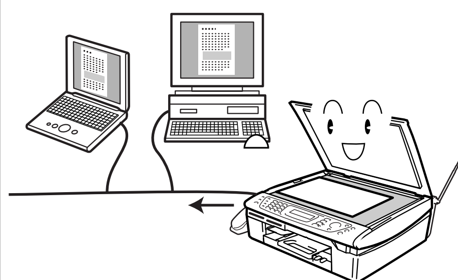
- **Windows®** の場合 P.1-2-1
- **Macintosh®** の場合 P.2-2-1



ネットワークスキャナとして使う

本機をネットワーク上で共有できるスキャナとして利用できます。

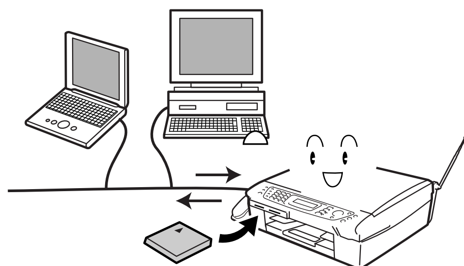
詳しくは「パソコン活用編」をご覧ください。



ネットワークでメモリーカードを利用する [ネットワークメディアカードアクセス]

ネットワークで接続された複数のパソコンから、本機のカードスロットにセットしたメモリーカードにアクセスできます。

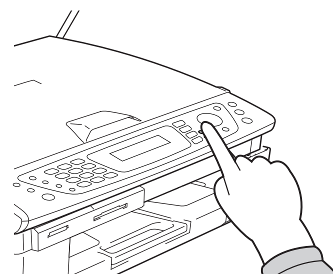
詳しくは「パソコン活用編」をご覧ください。



操作パネルを使ってネットワークの設定をする

操作パネルのボタンを使用して、ネットワーク上で本機を使用するための設定ができます。

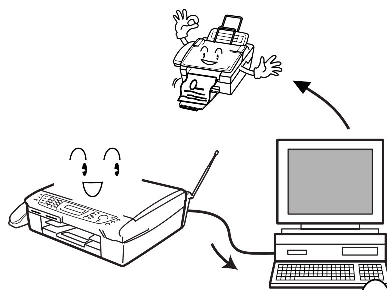
P.3-1-2



ネットワーク PC-FAX を使う

パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを印刷せずに送信できます。

- **Windows®** の場合 P.1-3-1
- **Macintosh®** の場合 P.2-3-1

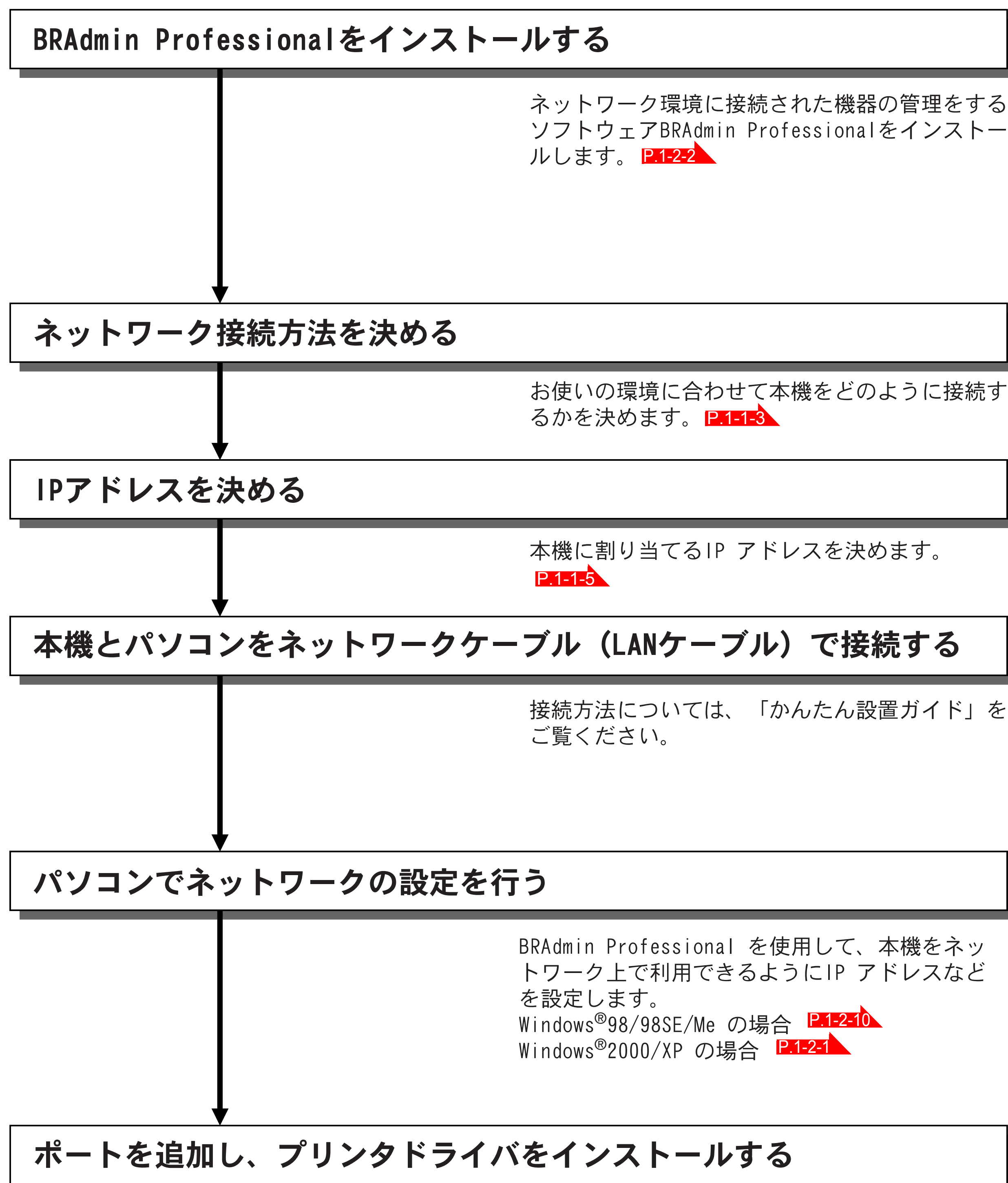


第 1 部

Windows® 編

第 1 章 ネットワークで使う前に

ネットワーク導入作業の流れ



ネットワークの接続方法を決める

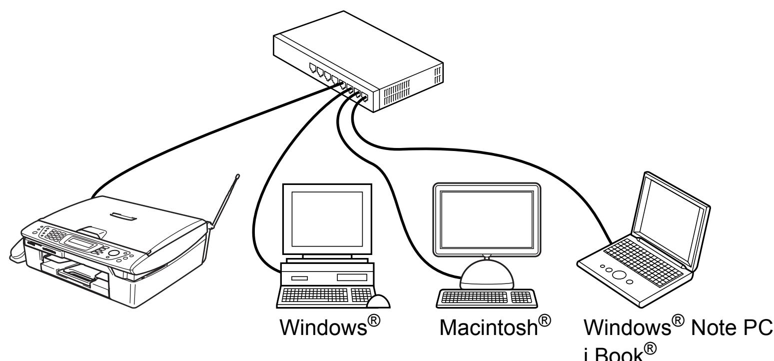
ネットワークプリンタを接続する場合、パソコンからブロードバンドルータやハブを通じて直接本機を使用する「ピアツーピア接続」と、本機に接続しているパソコンを経由して使用する「ネットワーク共有」があります。



本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。
ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

ピアツーピア接続

各パソコンにプリンタポートの設定が必要です。



第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

ネットワーク接続に必要な環境を整える

本機をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

準備するもの

●ネットワークケーブル（LAN ケーブル）

本機とパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。ネットワークケーブル（LAN ケーブル）にはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ 5E という規格のケーブルです。5E の E は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ 5E のケーブルはカテゴリ 5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。
また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルは ADSL モデムとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは 2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は 10BASE-T/100BASE-TX とも 100m となっているため、それ以下になるようにしてください。

●ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TX や 1000BASE-T に使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。
ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

●ブロードバンドルータ

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ブロードバンドルータを使用すると、接続した各機器に自動で IP アドレスを割り当ててる DHCP 機能や、LAN 内の独自の IP アドレス（プライベート IP アドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用の IP アドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる NAT 機能があります。
さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能なども持っています。

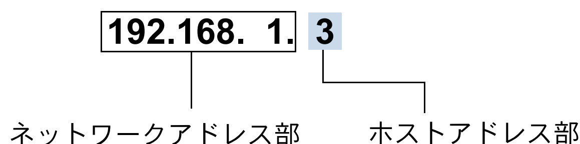
IP アドレスを決める

IP アドレスとは

IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器 (ノード) には、必ず IP アドレスを割り当てる必要があります。
IP アドレスは、0 ～ 255 までの数字を「. (ピリオド)」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。
ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168.　1.3　　　IP アドレス
255.255.255.0　　　サブネットマスク

と設定されている場合、



という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された "0" と "255" を除いた 1 ～ 254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本機を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。



予約されているアドレス
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本機に割り当てることはできません。

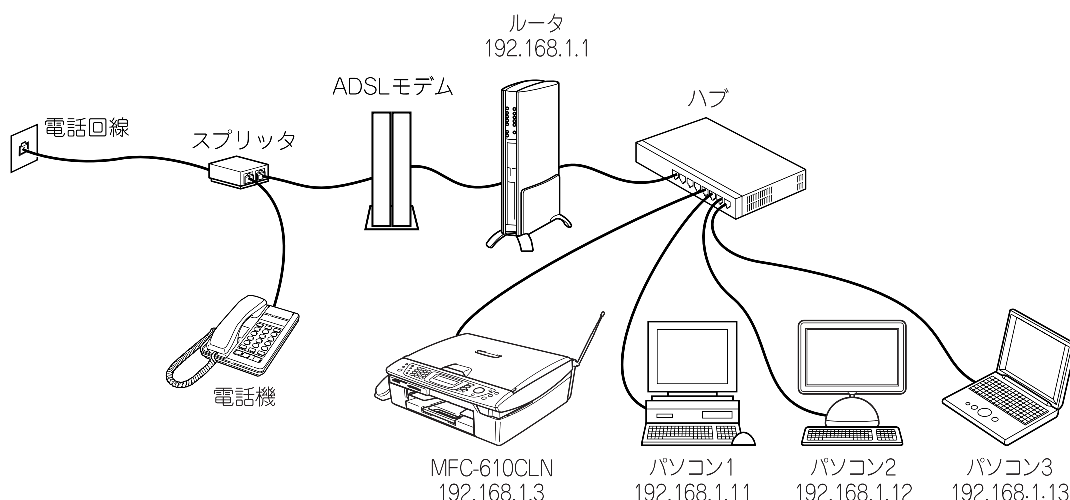
第 1 部 Windows® 編
第 1 章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第 2 部 Macintosh® 編
第 1 章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第 3 部 こんなときは
第 1 章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

IP アドレスの決め方

本機を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルータなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。
ルータの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本機やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器の IP アドレスを設定してください。

例）

機器名 (ノード)	IP アドレス	サブネットマスク
ルータ	192.168.1.　1	255.255.255.0
本機	192.168.1.　3	255.255.255.0
パソコン 1	192.168.1.11	255.255.255.0
パソコン 2	192.168.1.12	255.255.255.0
パソコン 3	192.168.1.13	255.255.255.0





ネットワーク管理者がいるときは
事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できる IP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。



ネットワーク内にルータがあるときは
ルータにも IP アドレスが割り当てられています。その IP アドレスを本機またはパソコンに設定しないでください。ルータの IP アドレスはルータの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



DHCP 環境でお使いの場合
ルータには DHCP 機能があり、初期状態で有効になっている場合があります。このときはルータの DHCP 機能を無効にするか、本機の IP アドレス取得方法を「static」にしてください。
ルータについては「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

第2章 ネットワークプリンタとして使う

Windows®2000/XP の場合

Windows®2000/XP の場合は、標準でインストールされている TCP/IP というプロトコルを使用して、本機をネットワーク上で利用できます。

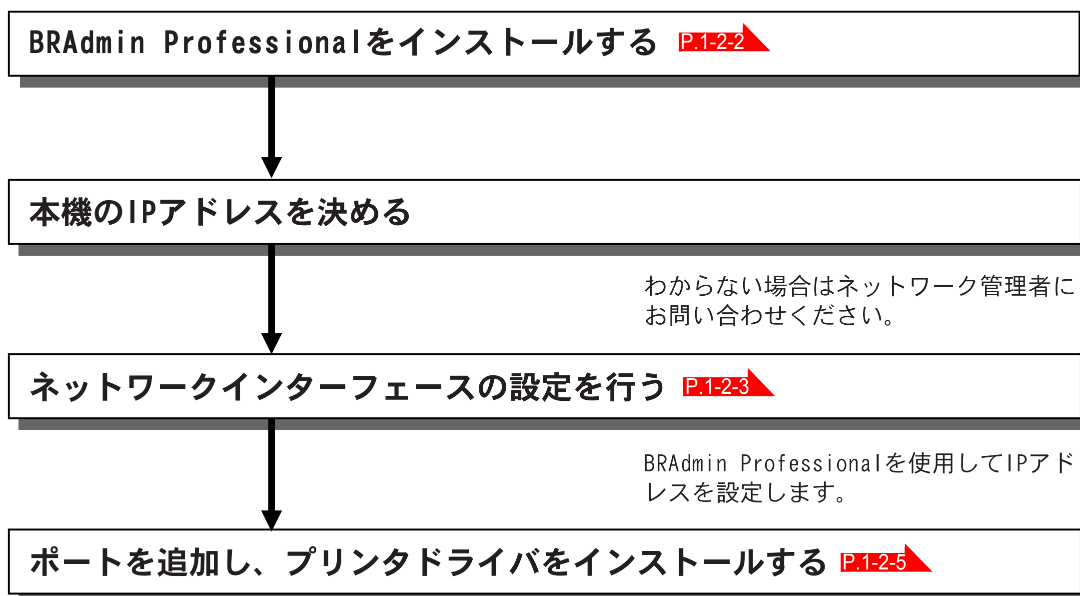
●プロトコルとは

パソコン間の通信のルールです。
ネットワークにはさまざまなパソコンが接続されているため、それらの通信形式が違うとお互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

● TCP/IP とは

もっともよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。
TCP/IP は、ファイルやプリンタの共有も行うことができます。ネットワーク内では、パソコンなどの機器の特定に IP アドレスが使用されています。

設定の流れ



BRAdmin Professional をインストールする

BRAdmin Professional は、ネットワークプリンタなど、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
モデル名を選ぶ画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。

2 「追加ソフトウェア」をクリックします。



3 「BRAdmin Professional」をクリックし、画面の指示にしたがってインストールします。



メモ

Windows®XP で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Professional の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、以下の手順で一時的に無効に設定してください。

① コントロールパネルから［ネットワークとインターネット接続］－［ネットワーク接続］をクリックします。
② 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
③「詳細設定」タブをクリックします。
④［インターネットからこのコンピュータのアクセスを制御したり防いだりして、コンピュータのネットワークを保護する］のチェックボックスを OFF にします。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本機に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本機の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



ゲートウェイの設定

ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

- **IP アドレス配布サーバを利用している場合**
  本機は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本機が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

- **IP アドレス配布サーバを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本機が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdminProfessional を使用して本機の IP アドレスを設定してください。



お買い上げ時の IP アドレス

IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。

- IP アドレス：169.254.XXX.XXX（APIPA 機能による自動割当）
- パスワード：access

現在の設定値を調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.3-1-16 をご覧ください。



1 本機とパソコンをネットワークに接続した状態で、BRAdmin Professional を起動します。



2 ウィンドウの左側にある「フィルタ」の「TCP/IP」を選びます。

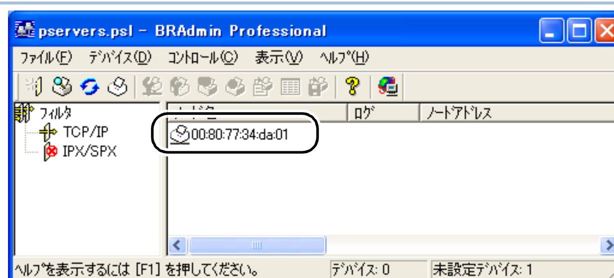




ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本機のネットワークインターフェースが表示されます。

3 **［デバイス］メニューから［稼働中のデバイスの検索］を選びます。**

工場出荷時のままの場合は、未設定デバイスとして表示されます。
この場合、「ノード名」にはイーサネットアドレス（MAC アドレス）が表示されます。

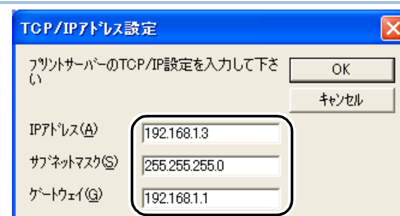


4 **「未設定デバイス」をダブルクリックします。**

> **メモ**
> 現在設定されているノード名やイーサネットアドレス (MAC アドレス) を調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.3-1-16 をご覧ください。

5 **本機の IP アドレス、サブネットマスク、必要に応じてゲートウェイを入力します。**

例） IP アドレス　　　：192.168.1.3
　　サブネットマスク　：255.255.255.0
　　ゲートウェイ　　　：192.168.1.1



6 **［OK］をクリックします。**

7 **本機に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンタ名が表示されます。**

> **メモ**
> **BRAdmin Professional を使用せずに IP アドレスを設定するときは**
> 以下の方法でも IP アドレスの設定ができます。
> - 操作パネルで設定する「IP アドレス」P.3-1-5
> - DHCP、APIPA、RARP、BOOTP を使用する「IP アドレスの設定方法」P.3-2-2

ポートの追加とプリンタの関連付けを行う

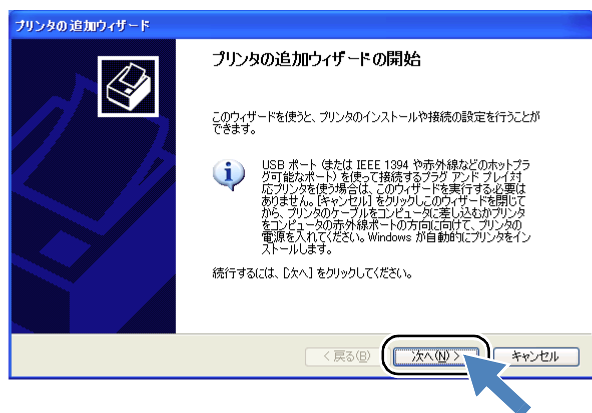
「プリンタの追加ウィザード」で本機へのポートの追加とプリンタドライバのインストールを行います。
すでにパソコンへプリンタドライバをインストールしている場合は、「プリンタドライバがすでにインストールされているときは」P.1-2-9 をご覧ください。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選び、「プリンタのインストール」をクリックします。

- Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

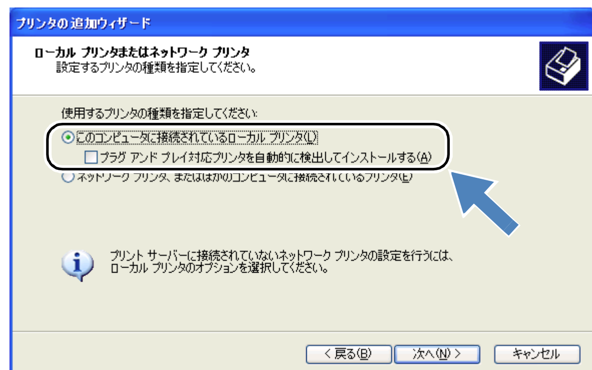
「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。



3 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」をクリックし、「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」チェックボックスを OFF にします。

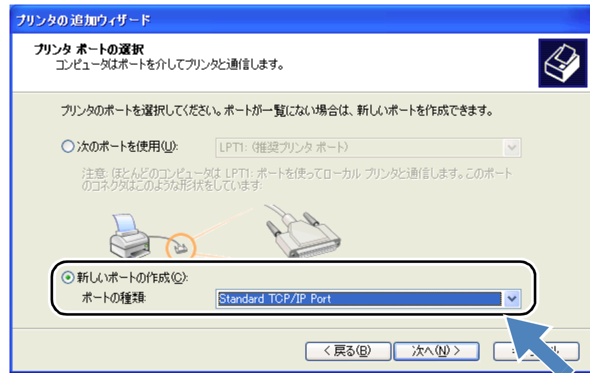
- Windows® 2000 の場合は、「ローカルプリンタ」をクリックし、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」チェックボックスを OFF にします。



4 ［次へ］をクリックします。

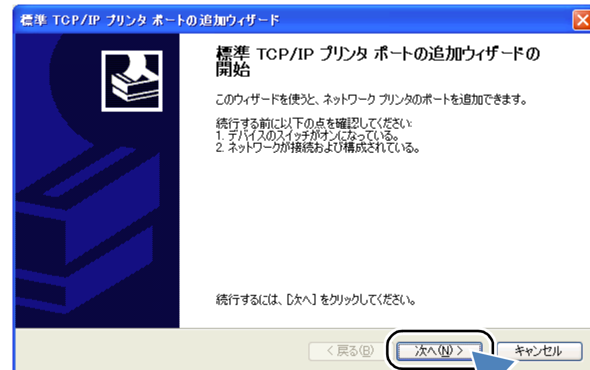
第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

5 「新しいポートの作成」をクリックし、「ポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選びます。

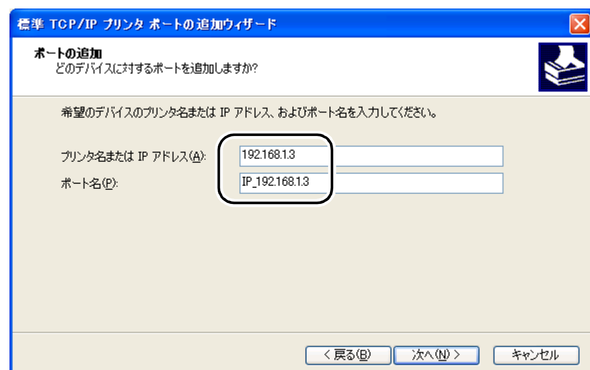


6 ［次へ］をクリックします。
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

7 ［次へ］をクリックします。



8 本機の「プリンタ名または IP アドレス」を入力します。
「ポート名」は自動的に入力されます。
例） 192.168.1.3 の場合
IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に［IP_192.168.1.3］が入力されます。





- 本機の IP アドレスが DHCP などで自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更される場合があるため、ノード名で設定することをお勧めします。本機のノード名は、BRAdmin Professional または LAN 設定内容リスト P.3-1-16 で確認できます。

9 ［次へ］をクリックします。
入力したプリンタ名または IP アドレスが間違っている場合はエラーメッセージが表示されます。
正しい内容を入力し直してください。

10 ［完了］をクリックします。
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が終了し、「プリンタの追加ウィザード」に戻ります。

11 ［ディスク使用］をクリックします。

12 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。

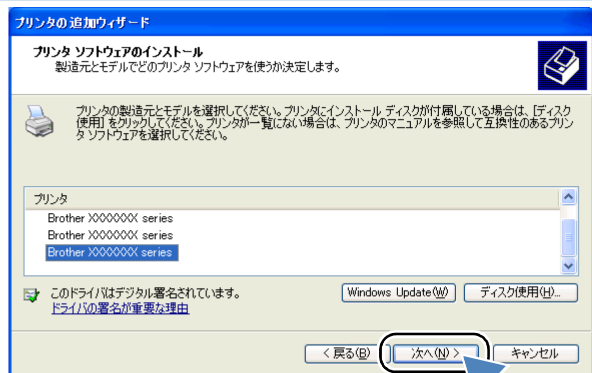
13 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選び、本機のプリンタドライバの保存フォルダを選びます。

- Windows®2000：¥JPN¥W2K¥Addprt
- Windows®XP：¥JPN¥WXP¥Addprt

14 ［開く］をクリックします。

15 ［OK］をクリックします。

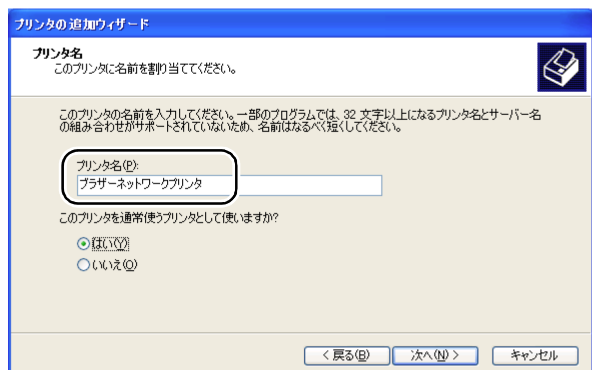
16 プリンタのリストからお使いのモデル名を選び、［次へ］をクリックします。



メモ パソコンがインターネットに接続されている場合は、［Windows Update］をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタドライバを直接ダウンロードすることもできます。

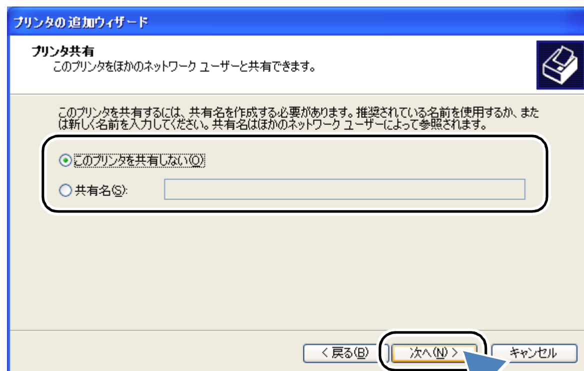
メモ すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
「現在のドライバを使う（推奨）」を選び、［次へ］をクリックします。

17 必要に応じて、「プリンタ名」を変更します。
例）ブラザーネットワークプリンタ



18 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選び、［次へ］をクリックします。

19 本機を共有するかどうかを選び、共有する場合は「共有名」を入力して、[次へ] をクリックします。

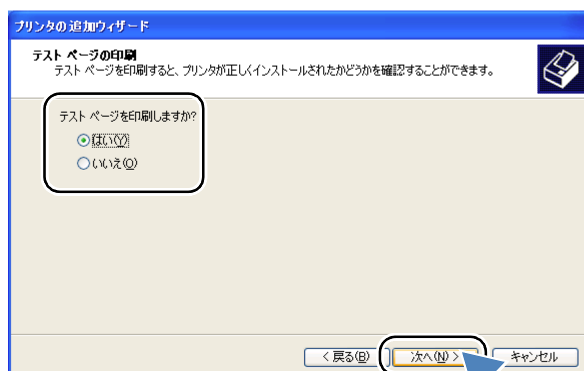




共有した場合は、必要に応じて「場所」と「コメント」を入力して、[次へ] をクリックします。

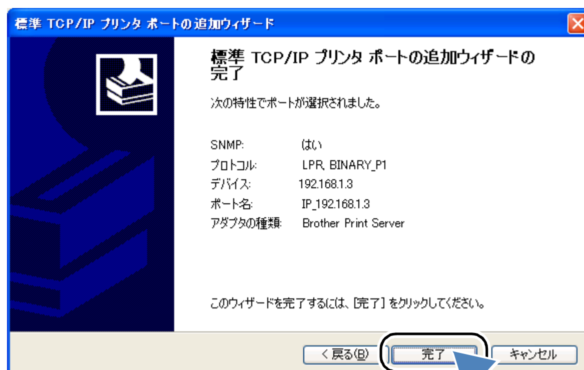
20 テストページを印刷するかどうかを選び、[次へ] をクリックします。

- [はい] を選んだ場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- [いいえ] を選んだ場合は、あとでテスト印刷を行い、正しく印刷されるか確認してください。



21 [完了] をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」での設定が終了しました。





プリンタドライバがすでにインストールされているときは

以下の手順でポートの追加と本機の関連付けをします。

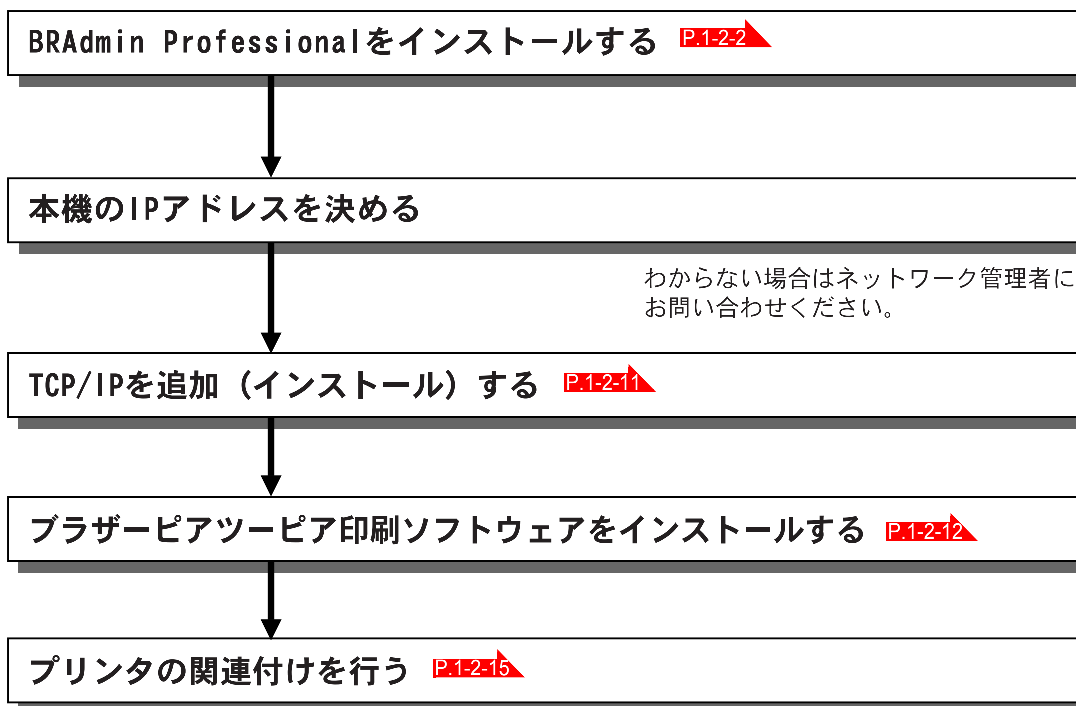
① [スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリック(Windows® 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] − [プリンタ] の順にクリック)し、設定するプリンタをクリックします。
② [ファイル] メニューから [プロパティ] を選びます。
③ [ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。
④ [Standard TCP/IP Port] を選び、[新しいポート] をクリックします。
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。
⑤「ポートの追加とプリンタの関連付けを行う」の手順 7 〜 10 P.1-2-6 を実行します。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

Windows®98/98SE/Me の場合

設定の流れ

Windows®98/98SE/Me の場合は、TCP/IP というプロトコルをパソコンにインストールし、追加ソフトウェアの「ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェア」で IP アドレスの設定を行います。



第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

TCP/IP を追加する

Windows®98/98SE/Me へ TCP/IP を追加します。「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックして［ネットワークの設定］タブをクリックします。「現在のネットワークコンポーネント」に「TCP/IP」がないときには、以下の手順に従って追加してください。
すでに「TCP/IP」があるときは、「ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアのインストール」P.1-2-12 へ進みます。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］を選び、「ネットワーク」をダブルクリックします。

2 ［ネットワークの設定］タブで、［追加］をクリックします。

3 「プロトコル」を選び、［追加］をクリックします。

4 「製造元」で「Microsoft」を選び、「ネットワークプロトコル」で［TCP/IP］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。
「現在のネットワークコンポーネント」に「TCP/IP」が追加されます。

メモ
必要なファイルをコピーするため Windows®98/98SE/Me のディスクを挿入する指示が表示された場合は、指示に従ってフロッピーディスクまたは CD-ROM を挿入してください。

6 「現在のネットワークコンポーネント」の「TCP/IP」を選び、［プロパティ］をクリックします。

7 IP アドレスなどの必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。
入力する情報がわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

8 ［OK］をクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。

9 ［はい］をクリックします。
パソコンが再起動し、TCP/IP が追加されます。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアのインストール

ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアをインストールします。

1 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

- 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックします。
- すでに TCP/IP がある場合は、手順 6 へ進んでください。

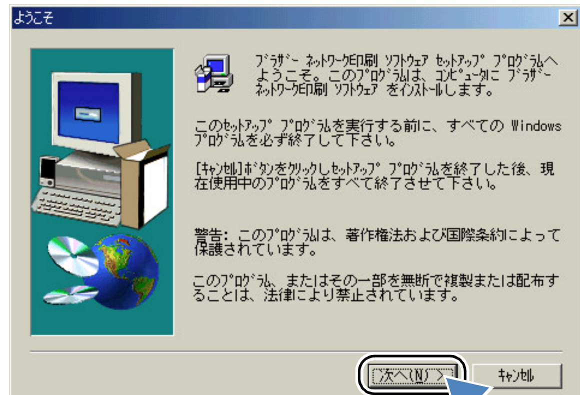
2 お使いのモデル名をクリックします。

3 ［追加ソフトウェア］をクリックします。

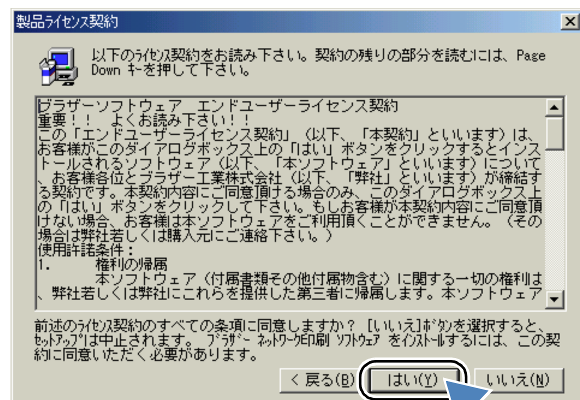
4 「ネットワーク管理者用ソフトウェア」をクリックします。

5 「ネットワークプリントソフトウェア」をクリックします。
ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

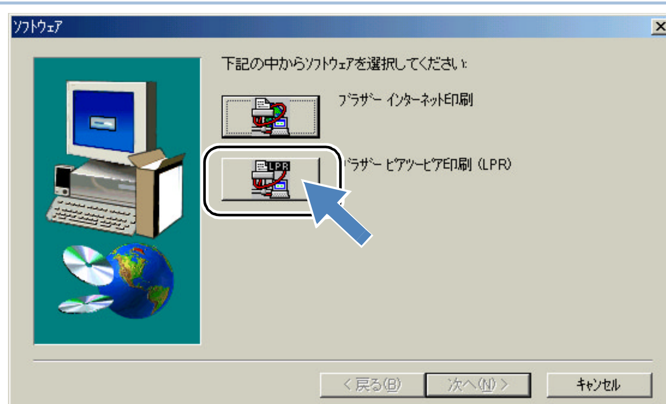
6 ［次へ］をクリックします。



7 製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。



8 「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）」をクリックします。



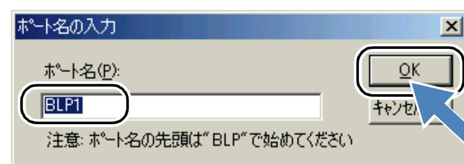
9 ファイルをインストールするフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

- 変更する場合は、インストールするフォルダのパスを入力します。
- フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。



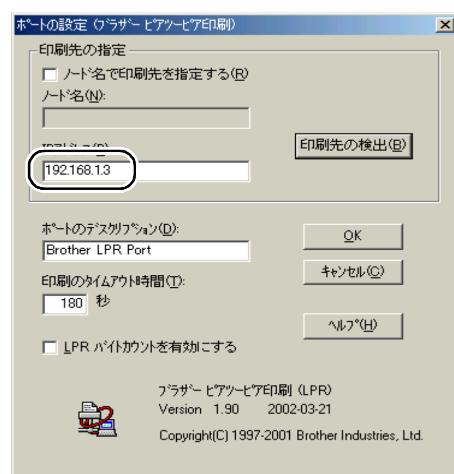
10 使用するポート名を確認し、［OK］をクリックします。

別のポート名を使用する場合は、必ず「BLPx」（x は任意の数字）にしてください。



11 「IP アドレス」に、本機の IP アドレスを入力します。

例）192.168.1.3



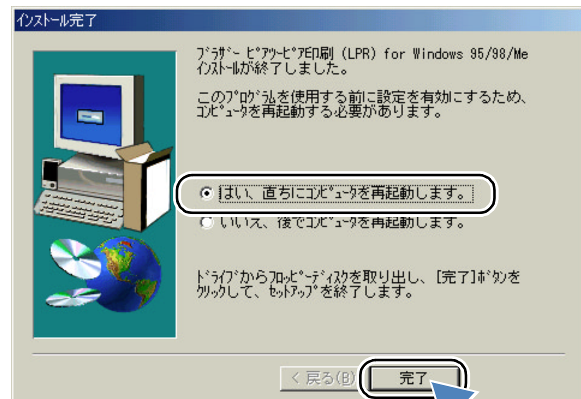


- 本機の IP アドレスが DHCP などで自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更される場合があるため、ノード名で設定することをお勧めします。本機のノード名は、BRAdmin Professional または LAN 設定内容リストP.3-1-16で確認できます。

12 ［OK］をクリックします。

13 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、［完了］をクリックします。

パソコンが再起動し、ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアのインストールが完了します。



第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

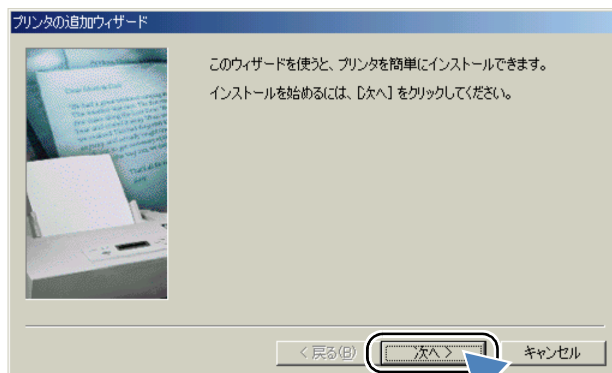
プリンタの関連付け

「プリンタの追加ウィザード」で追加したポートと本機の関連付けを行います。

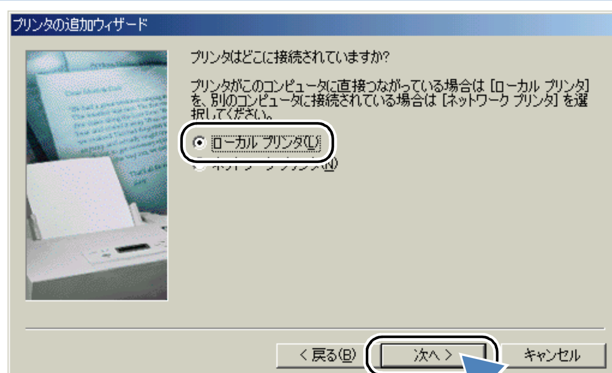
1 [スタート] メニューから [設定] ー [プリンタ] の順にクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

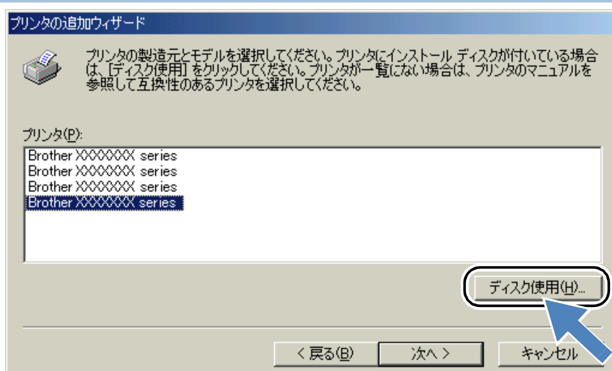
2 [次へ] をクリックします。



3 「ローカルプリンタ」を選び、[次へ] をクリックします。



4 [ディスク使用] をクリックします。



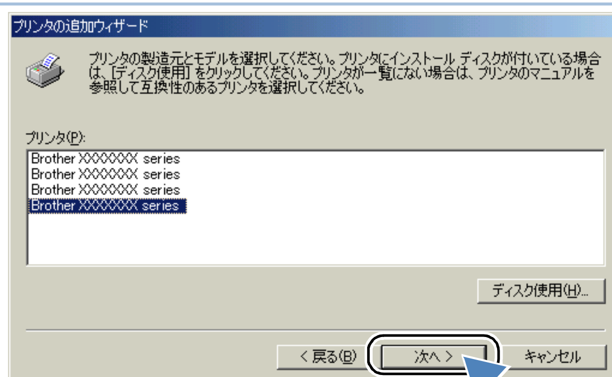
5 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[参照] をクリックします。

6 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選び、本機のプリンタドライバの保存フォルダ「¥JPN¥W9X¥Addprt」を選びます。

7 [開く] をクリックします。

8 [OK] をクリックします。

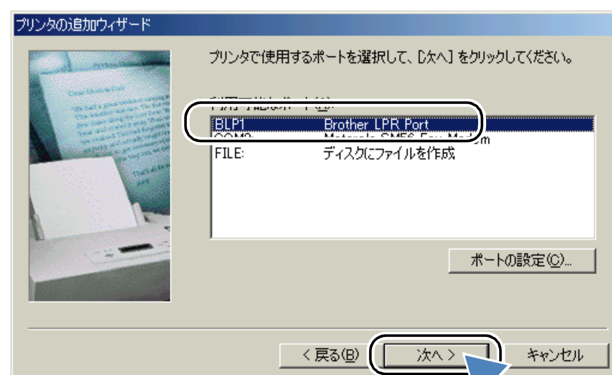
9 プリンタのリストからお使いのモデル名を選び、[次へ] をクリックします。



メモ パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタドライバを直接ダウンロードすることもできます。

メモ すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
「現在のドライバを使う（推奨）」を選び、[次へ] をクリックします。

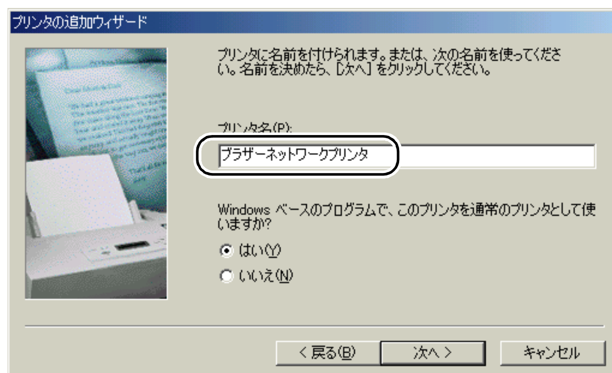
10 「ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアのインストール」の手順 10 で設定したポートを選択し、[次へ] をクリックします。
例） BLP1



第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

11 必要に応じて「プリンタ名」を変更します。

例）ブラザーネットワークプリンタ

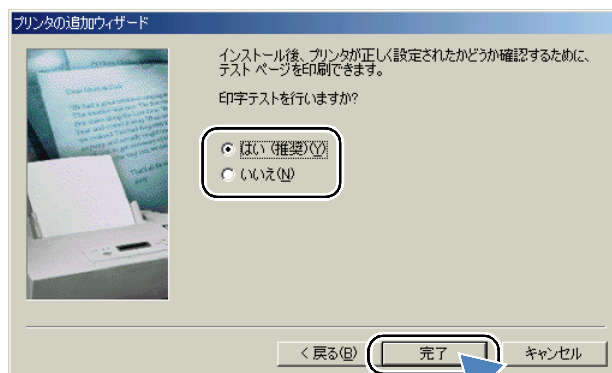


12 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選び、［次へ］をクリックします。

テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

13 テストページを印刷するかどうかを選び、［完了］をクリックします。

- ［はい］を選んだ場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選んだ場合は、あとでテストページが正しく印刷されるか確認してください。





ブラザーピアツーピア印刷ポートをさらに追加するときは

ブラザーピアツーピア印刷ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。以下の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタを選びします。
② ［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。
③ ［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［その他］をクリックし、「Brother LPR Port」を選びます。
⑤ ［OK］をクリックします。
［ポート名の入力］が表示されます。
⑥ 「ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアのインストール」の手順 10 ～ 12 P.1-2-13 を実行します。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

第 3 章 ネットワーク PC-FAX 機能を使う

ネットワーク PC-FAX 機能とは

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。また、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。また、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。

ネットワーク PC-FAX 機能を使う

アプリケーションから印刷を実行し、「Brother PC -FAX」を選ぶと PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、CD-ROM に収録されている本機の取扱説明書「パソコン活用編」をご覧ください。

ネットワーク PC-FAX 機能を使う準備

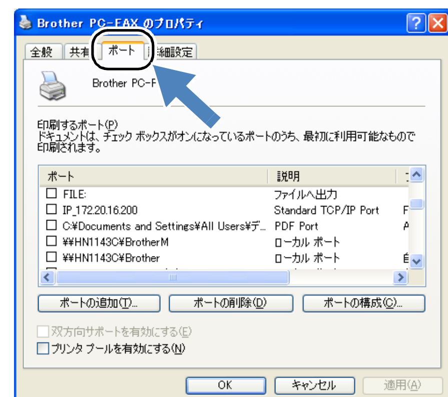
PC-FAX の関連付け

1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順に選びます。
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 ブラザー PC-FAX のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
ブラザー PC-FAX のアイコンは、ドライバインストール時にインストールされます。
ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

3 ［ポート］タブをクリックし、使用するポートを選びます。
複数台の MFC をご使用の場合は、ネットワーク PC-FAX に使用するポートをここで指定してください。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

● Windows®98/98SE/Me の場合は、「詳細」タブをクリックし、使用するポートを選びます。



4 ［OK］をクリックします。
これで設定は完了です。



ネットワーク PC-FAX を使用して通常のファクシミリに電話線を通じてファクスを送信する
送信先の欄に送付先のファクス番号を入力するか、PC-FAX アドレス帳から相手先を選んでください。
ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、「パソコン活用編」をご覧ください。

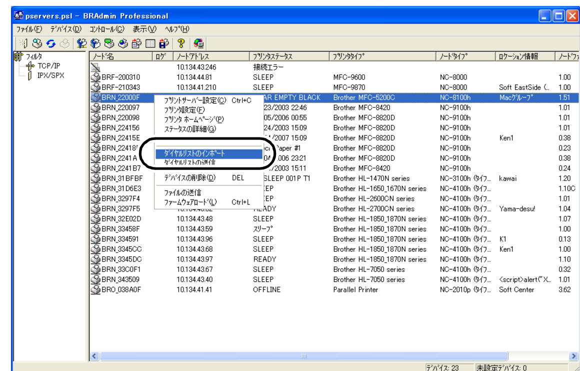
ネットワーク PC-FAX のアドレス帳を更新する

BRAdmin Professional を使用すると、本機の電話帳から PC-FAX アドレス帳にデータを読み込んだり（インポート）本機の電話帳を更新することができます。
あらかじめ、BRAdmin Professional とドライバをインストールしておく必要があります。

1 BRAdmin Professional を起動します。

2 リスト上の本機を右クリックし、「ダイヤルリストのインポート」を選びます。

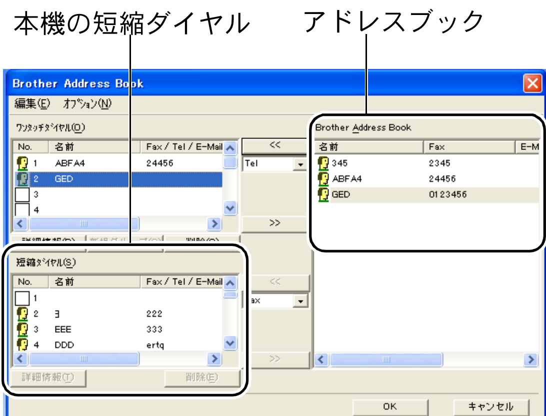
本機の電話帳が PC-FAX アドレス帳に登録されます。



3 「PC-FAX アドレス帳」画面が表示されます。

4 短縮ダイヤルに登録する相手先を登録します。

［<<］［>>］をクリックして、相手先を左のボックスに移動させます。



5 「PC-FAX アドレス帳」画面の［OK］をクリックします。

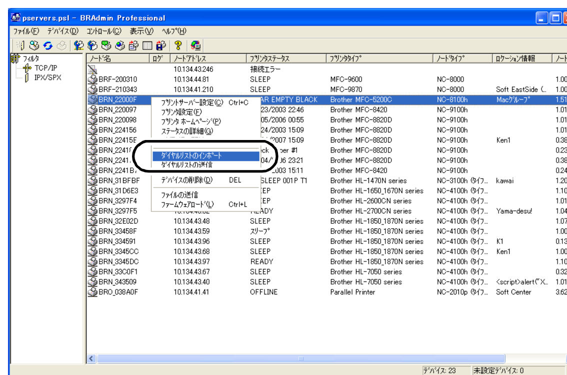
電話帳を更新する

BRAdmin Professional を使用して、パソコン上から本機の電話帳を更新することができます。

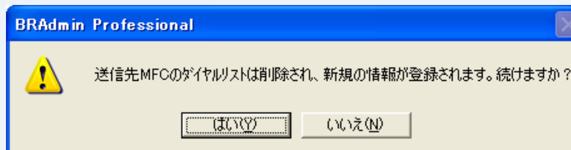
1 BRAdmin Professional を起動します。

2 リスト上の本機を右クリックし、「ダイヤルリストの送信」をします。

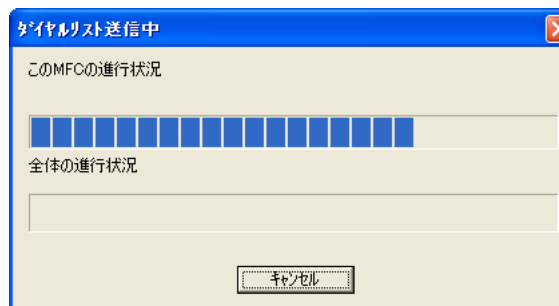
PC-FAX アドレス帳が本機に内蔵されている電話帳に送られ、更新されます。
複数台のブラザー製複合機の電話帳を同時に更新することもできます。
このとき、本機のパスワードを入力する必要があります。お買い上げ時のパスワードは「access」です。



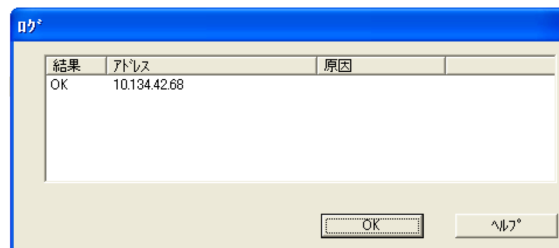
メモ この操作により、送信先 MFC のダイヤルリストが削除されます。必要なデータはあらかじめ保存しておくことをおすすめします。



更新中は右の画面が表示されます。
更新を中止するときは、［キャンセル］をクリックします。



更新が終わると、右の画面が表示されます。
確認して、［OK］をクリックします。

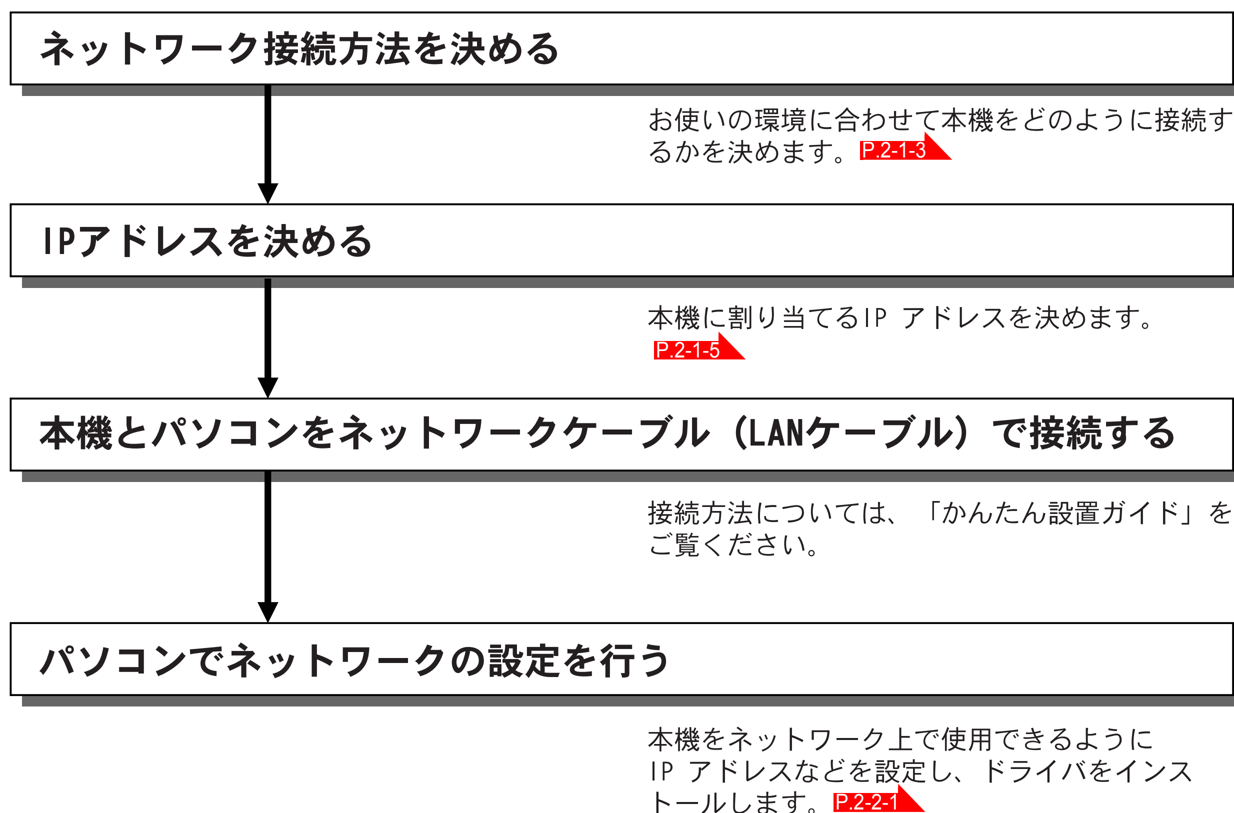


第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

第 2 部
Macintosh® 編

第１章 ネットワークで使う前に

ネットワーク導入作業の流れ



第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

ネットワークの接続方法を決める

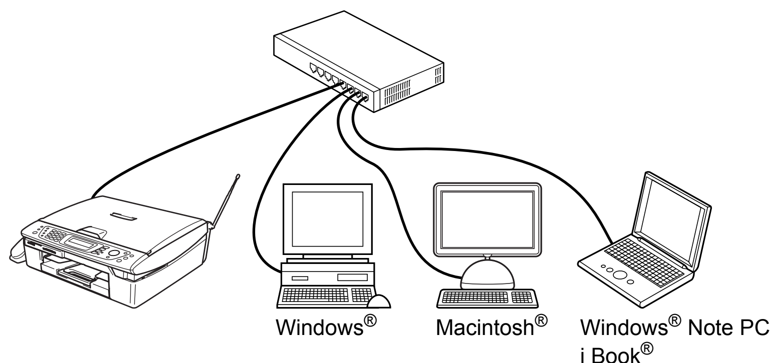
ネットワークプリンタを接続する場合、パソコンからブロードバンドルータやハブを通じて直接本機を使用する「ピアツーピア接続」と、本機に接続しているパソコンを経由して使用する「ネットワーク共有」があります。



本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。
ネットワーク共有の設定方法については、オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

ピアツーピア接続

各パソコンにプリンタポートの設定が必要です。



ネットワーク接続に必要な環境を整える

本機をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

準備するもの

●ネットワークケーブル（LAN ケーブル）

本機とパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。ネットワークケーブル（LAN ケーブル）にはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ 5E という規格のケーブルです。5E の E は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ 5E のケーブルはカテゴリ 5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。
また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルは ADSL モデムとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは 2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は 10BASE-T/100BASE-TX とも 100m となっているため、それ以下になるようにしてください。

●ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TX や 1000BASE-T に使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。
ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

●ブロードバンドルータ

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ブロードバンドルータを使用すると、接続した各機器に自動で IP アドレスを割り当ててる DHCP 機能や、LAN 内の独自の IP アドレス（プライベート IP アドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用の IP アドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる NAT 機能があります。
さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能なども持っています。

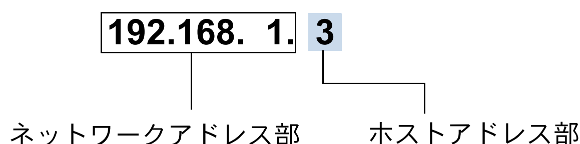
IP アドレスを決める

IP アドレスとは

IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器 (ノード) には、必ず IP アドレスを割り当てる必要があります。
IP アドレスは、0 〜 255 までの数字を「. (ピリオド)」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。
ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168.　1.3	**IP アドレス**
255.255.255.0	**サブネットマスク**

と設定されている場合、



という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された "0" と "255" を除いた 1 〜 254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本機を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。



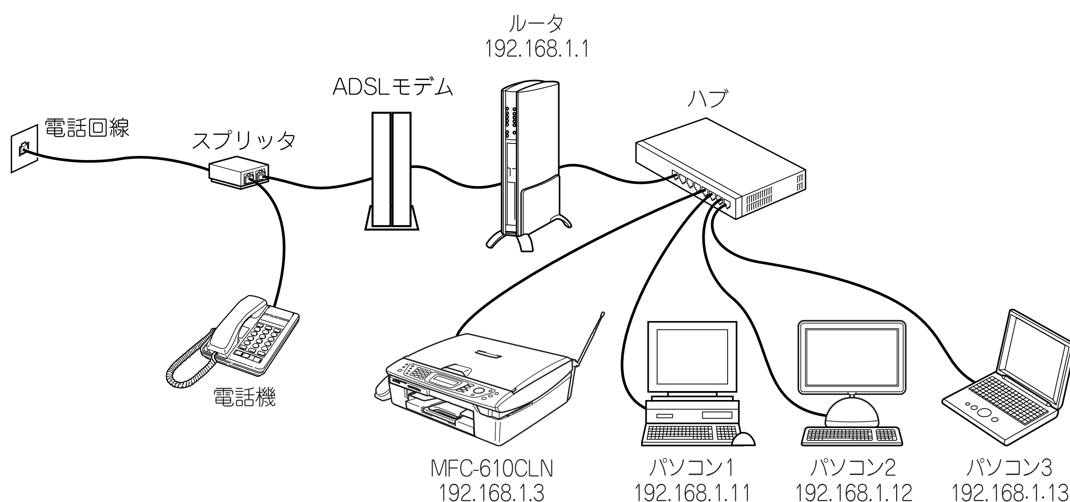
予約されているアドレス
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本機に割り当てることはできません。

IP アドレスの決め方

本機を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルータなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。
ルータの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本機やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器の IP アドレスを設定してください。

例）

機器名 (ノード)	IP アドレス	サブネットマスク
ルータ	192.168.1．1	255.255.255.0
本機	192.168.1．3	255.255.255.0
パソコン 1	192.168.1.11	255.255.255.0
パソコン 2	192.168.1.12	255.255.255.0
パソコン 3	192.168.1.13	255.255.255.0





ネットワーク管理者がいるときは

事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できる IP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。



ネットワーク内にルータがあるときは

ルータにも IP アドレスが割り当てられています。その IP アドレスを本機またはパソコンに設定しないでください。ルータの IP アドレスはルータの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



DHCP 環境でお使いの場合

ルータには DHCP 機能があり、初期状態で有効になっている場合があります。このときはルータの DHCP 機能を無効にするか、本機の IP アドレス取得方法を「static」にしてください。
ルータについては「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

TCP/IP を利用して印刷するには、本機に IP アドレスを割り当てる必要があります

使用するパソコンと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本機の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



ゲートウェイの設定

ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

● IP アドレス配布サーバを利用している場合

本機は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本機が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

● IP アドレス配布サーバを利用していない場合

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本機が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、本機の操作パネルを使用して本機の IP アドレスを設定してください。



お買い上げ時の IP アドレス

IP アドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。

・IP アドレス：169.254.XXX.XXX（APIPA 機能による自動割当）

・パスワード：access

現在の設定値を調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.3-1-16をご覧ください。

第 2 章 ネットワークプリンタとして使う

設定の流れ

本機は Mac OS X 10.2.4 以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されているプリンタを簡単に使用できるようになります。

●プリントサーバ（本機）の設定

TCP/IP を使用する場合は、プリントサーバに適切な IP アドレスを設定する必要があります。
Mac OS X は、APIPA（AutoIP）機能に対応しています。APIPA を使用している環境であれば、プリントサーバも APIPA を使用して自動的に IP アドレスを割り当てるため、IP アドレスを設定しなくてもプリントサーバを使用できます。
IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを決める」P.2-1-5 をご覧ください。

プリントサーバの設定を行う

↓ 必要に応じてプリントサーバに IPアドレスの設定などを行います。わからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

簡易ネットワーク設定機能の設定を行う

ネットワーク上のプリンタをリストアップし、使用できるように設定します。



Mac OS® X 10.2.4 以降の場合

簡易ネットワーク設定機能を使用するとネットワークプリンタとして利用できます。設定方法については、かんたん設置ガイド「ネットワークケーブル（LAN ケーブル）で接続する場合（Mac OS X 10.2.4 以降)」をご覧ください。



Mac OS® 8.6 ～ 9.2 の場合

Mac OS 8.6 ～ 9.2 をお使いの場合の設定方法については、かんたん設置ガイド「ネットワークケーブル（LAN ケーブル）で接続する場合（Mac OS 8.6 ～ 9.2)」をご覧ください。

第 3 章 ネットワーク PC-FAX 機能を使う

ネットワーク PC-FAX 機能では、アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選び、プリントダイアログで「ファクス送信」を選ぶと PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、CD-ROM に収録されている本機の取扱説明書「パソコン活用編」をご覧ください。

ネットワーク PC-FAX 機能とは

PC-FAX 機能を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを、ネットワーク上の本機からファクスとして送信できます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。



ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、「パソコン活用編」をご覧ください。

第 3 部
こんなときは

第 1 章 ネットワークの設定を変更する

操作パネルから設定を変更する

操作パネルは、スタートボタンなどさまざまな機能を持つボタンと液晶ディスプレイから構成されています。この章では、操作パネルのボタンを使用して、ネットワークで使用するために行う設定方法について説明します。

ボタンと液晶ディスプレイ

パソコンから操作しなくても、操作パネルのボタンを使って本機のネットワークの設定項目を変更できます。液晶ディスプレイには、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

操作パネルから設定できる項目

本機の操作パネルを使って、以下の項目を設定できます。

メニュー番号と項目名			参照先
5.LAN	1.TCP/IP セッテイ	1.IP シュトクホウホウ	P.3-1-4
		2.IP アドレス	P.3-1-5
		3. サブネットマスク	P.3-1-6
		4. ゲートウェイ	P.3-1-7
		5. ホストメイ	P.3-1-8
		6.WINS セッテイ	P.3-1-9
		7.WINS サーバ	P.3-1-10
		8.DNS サーバ	P.3-1-11
		9.APIPA	P.3-1-12
	2. ソノタセッテイ	1. イーサネット	P.3-1-13
		2. タイムゾーン	P.3-1-14
	0.LAN セッテイ リセット		P.3-1-15

TCP/IP の設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本機に IP アドレスを設定します。
コンピュータと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本機が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。



本機の工場出荷時の初期設定は、以下のとおりです。
- IP アドレス：169.254.XXX.XXX（APIPA 機能による自動割当）
- パスワード：access



- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用していない場合は、デフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 になります。
- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。お使いのパソコンが Windows® の場合は BRAdmin Professional を使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。お使いのパソコンが Macintosh® の場合は、「IP アドレスの取得方法」P.3-1-4 を参照して、「IP シュトクホウホウ」を「手動（static（固定））」に設定します。

このメニューは 9 つの項目で構成されています。

- **IP** アドレスの取得方法
- **IP** アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ホスト名
- **WINS** 設定
- **WINS** サーバ
- **DNS** サーバ
- **APIPA**



TCP/IP を設定する他の方法
- BRAdmin Professional を使用する場合は、「ネットワークインターフェースを設定する」P.1-2-3 をご覧ください。
- その他 TCP/IP を設定する方法は「IP アドレスの設定方法」P.3-2-2 をご覧ください。

IP アドレスの取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。

1 機能/確定 を押します。

選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。
▲▼でも選べます。

▲▼デセンタク / カクテイ
5. LAN

3 [1] TCP/IP セッテイ、[1] IP シュトクホウホウの順に押します。

TCP/IP　セッテイ
1. IP シュトクホウホウ

4 ▲▼で「Auto」、「Static」、「RARP」、「BOOTP」または「DHCP」を選びます。
お買い上げ時は「Auto」になっています。

IP シュトクホウホウ
Static

5 機能/確定 を押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。

IP シュトクホウホウ
ウケツケマシタ

6 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

IP アドレス

本機の現在の IP アドレスが表示されます。お買い上げ時は APIPA により自動的に割り当てられます。IP アドレスを変更する場合は、「IP アドレスの取得方法」を「Static」に指定してください。P.3-1-4

Static 以外の IP アドレスの取得方法が選ばれている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。

IP アドレスの取得方法が Auto に設定されている場合、Windows® 2000 の BOOTP サーバから IP アドレスの取得ができないので、DHCP を使うようにしてください。P.3-1-4

1 機能/確定 を押します。

選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。

でも選べます。

▲▼デセンタク / カクテイ
5. LAN

3 [1] TCP/IP セッテイ、[2] IP アドレスの順に押します。

TCP/IP　セッテイ
2. IP アドレス

4 1 を押します。

2 を押すと、設定メニューに戻ります。

000. 000. 000. 000
ヘンコウ　1. スル　2. シナイ

5 IP アドレスを入力します。

ニュウリョク/カクテイボタン
192. 168. 001. 003

6 機能/確定 を押します。

IP アドレスが登録されます。

IP アドレス
ウケツケマシタ

7 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

サブネットマスク

本機が使用する現在のサブネットマスクを表示します。DHCP または BOOTP、APIPA を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 機能/確定 を押します。

選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。
▲▼でも選べます。

▲▼デセンタク / カクテイ
5. LAN

3 [1] TCP/IP セッテイ、[3] サブネットマスクの順に押します。

TCP/IP　セッテイ
3. サブネット　マスク

4 1 を押します。

000. 000. 000. 000
ヘンコウ　1. スル　2. シナイ

2 を押すと、設定メニューに戻ります。

5 サブネットマスクアドレスを入力します。

ニュウリョク/カクテイボタン
255. 255. 255. 0

6 機能/確定 を押します。

サブネット　マスク
ウケツケマシタ

サブネットマスクが登録されます。

7 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

ゲートウェイ

本機の現在のゲートウェイ（ルータ）のアドレスを表示します。DHCP や BOOTP、APIPA を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルータ）設定を使用しない場合は 000.000.000.000 にしておいてください。アドレスがわからない場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

1 機能/確定 を押します。

選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。
▲▼でも選べます。

▲▼デセンタク / カクテイ
5. LAN

3 [1] TCP/IP セッテイ、[4] ゲートウェイの順に押します。

TCP/IP セッテイ
4. ゲートウェイ

4 1 を押します。

2 を押すとメニューに戻ります。

000. 000. 000. 000
ヘンコウ 1. スル 2. シナイ

5 ゲートウェイアドレスを入力します。

ニュウリョク/カクテイボタン
192. 168. 001. 001

6 機能/確定 を押します。

ゲートウェイアドレスが登録されます。

ゲートウェイ
ウケツケマシタ

7 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ホスト名

ホスト名（ノード名）をネットワークに登録するために使用します（WINS サーバに登録されている NetBIOS 名になります）。
お買い上げ時の設定（初期値）は BRN_XXXXXX（XXXXXX はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 文字）です（15 文字まで）。

1 機能/確定 を押します。

選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。
でも選べます。

▲▼デセンタク / カクテイ
5. LAN

3 [1] TCP/IP セッテイ [5] ホストメイの順に押します。

TCP/IP セッテイ
5. ホスト メイ

4 1 を押します。

2 を押すと、設定メニューに戻ります。

BRN_XXXXXX
ヘンコウ 1. スル 2. シナイ

5 ホスト名を入力します。
XXXXXX はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾 6 文字です。最大 15 文字まで入力できます。

ニュウリョク/カクテイボタン
BRN_XXXXXX

6 機能/確定 を押します。

ホスト名が登録されます。

ホスト メイ
ウケツケマシタ

7 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。



ホスト名（ノード名）を 15 文字を超えて入力することはできません。
NetBIOS でサポートされているホスト名（ノード名）は 15 文字までです。

WINS 設定

この項目で本機が WINS サーバアドレスをどのように取得するかを設定します。

Auto

DHCP サーバから自動的にプライマリ、セカンダリの WINS サーバアドレスを取得します。IP アドレスの取得方法が Auto に設定されている必要があります。

Static

手動で WINS サーバアドレスを設定します。

1 機能/確定 を押します。

選択メニューが表示されます。

2 ［5］LAN を押します。

でも選べます。

▲▼デセンタク / カクテイ
5. LAN

3 ［1］TCP/IP セッテイ ［6］WINS セッテイの順に押します。

TCP/IP セッテイ
6. WINS セッテイ

4 で「Auto」、「Static」のどちらかを選びます。

WINS セッテイ
Auto

お買い上げ時は「Auto」になっています。

5 機能/確定 を押します。

WINS セッテイ
ウケツケマシタ

WINS 設定が登録されます。

6 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

WINS サーバ

WINS サーバの設定をします。

プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS にホスト名を登録します。

セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバはプライマリ WINS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからないときに機能します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS にホスト名を登録します。

ネットワーク内にセカンダリの WINS サーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。

1. 機能/確定 を押します。

   選択メニューが表示されます。

2. ［5］LAN を押します。

   ▲▼ でも選べます。

▲▼デセンタク / カクテイ 5.LAN

3. ［1］TCP/IP セッテイ、［7］WINS サーバの順に押します。

TCP/IP　セッテイ 7.WINS サーバ

4. ▲▼ でプライマリ、セカンダリの WINS サーバを選びます。

WINS サーバ プライマリ

5. 機能/確定 で決定します。

6. WINS サーバのアドレスを入力します。

ニュウリョク/カクテイボタン 000.000.000.000

7. 機能/確定 を押します。

   WINS サーバのアドレスが登録されます。

WINS サーバ ウケツケマシタ

8. 停止/終了 を押します。

   設定メニューを終了します。

DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム）サーバの設定をします。スキャン E メール機能を使用する場合は必ず設定してください。

プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ DNS（ドメインネームシステム）サーバのアドレスを指定します。

セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ DNS サーバのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバはプライマリ DNS サーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい場合に設定してください。

1. 機能/確定 を押します。
   選択メニューが表示されます。

2. ［5］LAN を押します。
   ▲▼でも選べます。
   ▲▼デセンタク / カクテイ
   5. LAN

3. ［1］TCP/IP セッテイ ［8］DNS サーバの順に押します。
   TCP/IP　セッテイ
   8. DNS サーバ

4. ▲▼でプライマリまたはセカンダリの DNS サーバを選びます。
   DNS サーバ
   プライマリ

5. 機能/確定 で決定します。

6. DNS サーバのアドレスを入力します。
   ニュウリョク/カクテイボタン
   000. 000. 000. 000

7. 機能/確定 を押します。
   DNS サーバのアドレスが登録されます。
   DNS サーバ
   ウケツケマシタ

8. 停止/終了 を押します。
   設定メニューを終了します。

APIPA

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合に、APIPA（AutoIP）機能によって本機に IP アドレスを自動的に割り当てることができます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Professional や操作パネルから IP アドレスを変更してください。P.3-2-1

1 機能/確定 を押します。

選択メニューが表示されます。

2 ［5］LAN を押します。

▲▼でも選べます。

```
▲▼デセンタク / カクテイ
5.LAN
```

3 ［1］TCP/IP セッテイ ［9］APIPA の順に押します。

```
TCP/IP  セッテイ
9.APIPA
```

4 ▲▼で On または Off を選びます。

お買い上げ時は On に設定されています。

```
APIPA
On
```

5 機能/確定 を押します。

APIPA の設定が登録されます。

```
APIPA
ウケツケマシタ
```

6 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

その他の設定

このメニューは 2 つの項目で構成されています。

- イーサネット
- タイムゾーン

イーサネット

この設定の変更を有効にするためには、本機を再起動する必要があります。

1 機能/確定 を押します。

選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。
▲▼でも選べます。

▲▼デセンタク / カクテイ 5. LAN

3 [2] ソノタセッテイ、[1] イーサネットの順に押します。

ソノタ　セッテイ 1. イーサネット

4 ▲▼でリンクモードを選びます。

イーサネット 100B-HD

選べるモードは以下のとおりです。
- Auto
- 100B-FD
- 100B-HD
- 10B-FD
- 10B-HD

5 機能/確定 を押します。

イーサネット ウケツケマシタ

イーサネットの設定が登録されます。

6 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

Ethernet リンクモードについて

Auto： 100BaseTX（全二重 / 半二重）、10BaseT（全二重 / 半二重）モードを自動的に選びます。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：
それぞれのリンクモードに固定されます。
- 100B-FD　：100BaseTX Full Duplex
- 100B-HD　：100BaseTX Half Duplex
- 10B-FD　：10BaseT Full Duplex
- 10B-HD　：10BaseT Half Duplex

タイムゾーン

お住まいの国のタイムゾーンを設定します。ここで設定される値は、世界標準時間との時差になります。（例：日本　UTC+09:00）ここで設定したタイムゾーンは、インターネット経由で送信したドキュメントに使用されます。

1 機能/確定 を押します。

選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。
▲▼でも選べます。

```
▲▼デセンタク / カクテイ
5. LAN
```

3 [2] ソノタセッテイ、[2] タイムゾーンの順に押します。

```
ソノタ　セッテイ
2. タイムゾーン
```

4 ▲▼でタイムゾーンを設定します。

押すごとに 30 分ずつタイムゾーンが増減します。

```
タイムゾーン
UTC+09:30
```

5 機能/確定 を押します。

タイムゾーンが登録されます。

```
タイムゾーン
ウケツケマシタ
```

6 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。



UTC（協定世界時）について
GMT（グリニッジ標準時）とほぼ同じ時刻ですが、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な世界標準時間のことで、1972 年 1 月 1 日より使用されています。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

ネットワーク設定の初期化

現在のネットワーク設定を全て初期化できます。初期化すると本機は自動的に電源を切り、再起動します。

1 機能/確定 を押します。

2 [5] LAN を押します。
でも選べます。

▲▼デセンタク / カクテイ
5. LAN

3 [0] LAN セッテイ　リセットを押します。

LAN
0. LAN セッテイ　リセット

4 1 を押します。

2 を押すと、設定メニューに戻ります。

LAN セッテイ　リセット
1. リセット　2. キャンセル

5 1 を押します。

2 を押すと、設定メニューに戻ります。

サイキドウシマスカ？
1. スル　2. シナイ

6 数秒後に本機が再起動します。

LAN 設定内容リストの出力

現在のネットワークに関する設定内容を印刷できます。



MFC-410CN をお使いの場合は、（レポート）を押し、▲▼で「LAN セッテイナイヨウリスト」を選びます。

1 （機能/確定）を押します。

選択メニューが表示されます。

2 [6] レポートインサツを押します。
▲▼でも選べます。

▲▼デセンタク / カクテイ 6. レポートインサツ

3 [8] LAN セッテイナイヨウリストを押します。

レポートインサツ 8. LAN セッテイナイヨウリスト

4 モノクロスタート  または カラースタート  を押します。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

第 2 章 IP アドレスの設定方法

概要

TCP/IP を使用するには、ネットワーク上の機器に固有の IP アドレスを設定する必要があります。
この章では、本機の IP アドレスの設定方法について説明します。

● IP アドレスの設定



IP アドレスの自動設定機能（APIPA）
APIPA が使用可能で、DHCP などの IP アドレス配布サーバーがない環境では、169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。
APIPA を使用不可に設定する場合は、「APIPA」P.3-1-12を参照してください。
お買い上げ時の設定では、APIPA は使用可能に設定されています。

APIPA を使用しない場合のお買い上げ時の IP アドレスは 192.0.0.192 です。初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で設定できます。

- 手動で IP アドレスを設定する /BRAdmin Professional（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP） P.3-2-2
- DHCP を使用して自動的に設定する P.3-2-2
- APIPA を使用して自動的に設定する P.3-2-3
- RARP （rarp）を使用する P.3-2-3
- BOOTP を使用する P.3-2-4
- 操作パネルから設定を変更する P.3-1-5

IP アドレスの設定方法

手動でIPアドレスを設定する/BRAdmin Professional（推奨）

BRAdmin Professional は、Windows® 98/98SE/Me/2000/XP で使用できるソフトウェアです。TCP/IP または IPX/SPX に対応していて、ネットワークと本機の設定を管理できます。また、本機のファームウェアのアップデートにも利用できます。



BRAdmin Professional では、本機との接続に TCP/IP を使用して、IP アドレスを変更できます。本機の初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。
ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。お買い上げ時の設定では、APIPA の機能が有効になっています。

詳しくは、「BRAdmin Professional をインストールする」P.1-2-2をご覧ください。

DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワーク上に DHCP サーバがある場合は、その DHCP サーバから本機に自動的に IP アドレスが割り当てられます。

APIPA を使用して自動的に設定する

DHCP サーバが利用できない場合は、本機の IP アドレスの自動設定機能（APIPA）によって IP アドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。本機の IP アドレスを 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲、サブネットマスクは 255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは 0．0．0．0 に自動的に設定します。
お買い上げ時の設定では、APIPA は使用可能に設定されています。

RARP を使用する

UNIX ホストコンピュータなどで Reverse ARP（RARP）機能を使用し、本機の IP アドレスを設定できます。

00:80:77:31:01:07 BRN_310107

最初のエントリは、本機のイーサネットアドレスで、2 番目のエントリは本機の名前です。この名前は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません。

rarp デーモンが実行されていない場合は、実行する必要があります。このコマンドは、使用しているシステムによって、rarpd、rarpd-a、in.rarpd-a などと、少しずつ異なります。詳細は、man rarpd と入力するか、システムのマニュアルをご覧ください。

本機の電源を On にすると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

BOOTP を使用する

BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の /etc/services ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpd と入力するか、システムのマニュアルをご覧ください。
通常、BOOTP は /etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますので、このファイルの bootp エントリの行頭にある # を削除して、この行を有効にしておく必要があります。
一般的な /etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを以下に示します。

#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i



システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の # を削除します。# がない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。
次に、設定ファイル（通常は /etc/bootptab）を編集し、ネットワークインターフェースの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、イーサネットアドレス、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、システムのマニュアルをご覧ください。
一般的な /etc/bootptab エントリの例を、以下に示します。

BRN_310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
および
BRN_310107:ht=ethernet:ha=008077310107:
ip=192.189.207.3:

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、ネットワークプリンタの電源をオンにすると、BOOTP サーバから IP アドレスが割り当てられます。

第 3 章 トラブルシューティング

概要

本機を使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。

問題の種類を以下の 3 つに分けています。該当する問題のページをご覧ください。

- 接続と設定の問題P.3-3-2
- プロトコル固有の問題P.3-3-5
- その他の問題P.3-3-6

接続と設定の問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、以下の手順で確認します。

1 物理的に接続できているか確認します。

接続したルータまたはハブのリンクランプを確認します。点灯、または点滅していない場合はネットワークケーブル（LAN ケーブル）を交換したり、ハブの別のコネクタに接続し直します。

2 ネットワークケーブル（LAN ケーブル）を確認します。

ストレートケーブルを使用せず、クロスケーブルで接続すると正しく認識されません。ケーブルに混在が心配される場合は、透明樹脂コネクタを並べ、結線の色を見ることで簡単に調べられます。ストレートケーブル色の並びは同じですが、クロスケーブルの場合は色の並びが異なっています。

3 同一のネットワークに接続されているか確認します。

同一セグメント (ルータ内で物理的に同じ接続) であっても、IP アドレスに誤りがあると、別のネットワークに接続されていると認識されます。すでに利用中のパソコンがある場合は、接続しているネットワークの情報を調べます。

Windows®98/98SE/Me の場合	Windows メニューの MS-DOS プロンプトから winipcfg を実行します。
Windows®2000/XP の場合	Windows メニューのコマンドプロンプトから ipconfig /all を実行します。
Mac OS 8.6 ～ 9.2 の場合	「システム環境設定」の「ネットワーク」で確認できます。
Mac OS X 10.2.4 以降の場合	「コントロールパネル」の「TCP/IP」で確認できます。

例）利用中のパソコンの情報が以下の場合

IP アドレス	192.168.　1. 50
サブネットマスク	255.255.255.　0

本機の IP アドレスが、192.168.1.x に設定されているかを確認してください。例えば、192.168.0.x となっていると、異なるネットワークアドレスと認識されるため、印刷できなくなります。

4 ルータを再起動します。

ルータはアクセスを速くする為にルーティング・テーブルを持っています。これは一定期間、情報を保持し必要に応じて更新されます。もし、ネットワーク内で接続し直したり接続しているノードの IP アドレスの変更を繰り返し行った直後には、全ての IP アドレスに誤りが無くても正常に動作しない場合があります。この場合はルータを再起動させて回避できます。再起動の操作手順については、ルータの取扱説明書をご覧ください。

5 本機がオンラインで印刷できる状態か確認します。



LAN 設定内容リストを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。「LAN 設定内容リストの出力」P.3-1-16をご覧ください。

LAN 設定内容リストが正常に印刷されない場合は、以下の内容を確認してください。

① 本機に接続しているネットワークケーブルを外し、もう一度接続し直してください。このとき、操作パネルに数秒間「LAN セツゾクアクティブ」と表示されます。
表示されない場合は、ネットワーク設定に異常がある可能性があります。

②「LAN セツゾクアクティブ」が表示されない場合は、本機をお買い上げ時の設定に戻します。詳しくは、「ネットワーク設定の初期化」P.3-1-15をご覧ください。初期化した後で、LAN 設定内容リストを印刷します。

6 LAN 設定内容リストは印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、以下の手順を確認します。

どの手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

● TCP/IP を使用している場合

パソコンの MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトから次のコマンドを実行し、本機への ping を確認します。

Ping ipaddress

「ipaddress」は本機の IP アドレスです。
本機に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が正しく返される場合は、「プロトコル固有の問題」P.3-3-5のトラブルシューティングへ進みます。
  例） **C:¥>ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.1.3:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

- 応答がない場合は、手順 7 を確認した後で、「TCP/IP のトラブルシューティング」P.3-3-5へ進みます。
  例） **C:¥>ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.3:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

7 手順 6 で接続できなかった場合は、以下の項目を確認します。

① 本機がオンラインになっていることを確認します。
② 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックし、設定ページを印刷します。<Network Statistics> セクションに <Packets Received> でデータがあるかどうかを調べます。

8 リピータまたはハブを使用している場合は、そのリピータまたはハブの SQE（ハートビート）をオフにします。
他のハブを使用している場合やリピータマルチポートの場合は、本機を別のポートや他のハブ、またはマルチリピータで試し、元の接続ポートが正しく機能していたかどうかを確認します。

9 本機とホストコンピュータとの間にブリッジまたはルータが存在する場合は、ホストから本機へのデータの送受信ができるように設定されていることを確認します。

例えば、ブリッジは特定の IP アドレスのデータだけが通過できるように設定されていること（フィルタリング）があります。本機の IP アドレスが含まれるように設定してください。
ルータは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあります。本機で使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認してください。

プロトコル固有の問題

TCP/IP のトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークに問題がなく、TCP/IP を使用してネットワークプリンタに正しく印刷できない場合は、以下の手順で確認します。



設定エラーによる原因をなくすため、確認の前に以下の手順を行います。

- 本機の電源を入れ直します。
- ネットワークプリンタの設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

① 本機に IP アドレスが正しく設定されているか確認します。「LAN 設定内容リストの出力」P.3-1-16をご覧ください。

② ネットワーク上で本機に設定した IP アドレスが重複して使用されていないことを確認します。本機のネットワークケーブル（LAN ケーブル）を外して、ネットワーク上のパソコンの MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトから ping を実行し、タイムアウトになることを確認します。

2 本機に設定した IP アドレスが変わっていないか確認します。

本機に IP アドレスを指定して使用しようとした場合、パネル操作で間違いなく指定しているにもかかわらず、ping が通らなかったりする場合があります。IP アドレスを指定する場合は、あらかじめ、取得方法を「static」に変更してから IP アドレスを指定してください。

3 TCP/IP が本機で使用する設定になっていることを確認します。

4 rarp を使用した場合は、次の項目を確認します。

- UNIX ホストコンピュータで、rarpd、rarpd -a、または同等のコマンドを使用して rarp デーモンが起動していることを確認します。
- /etc/ethers ファイルに、正しいイーサネットアドレスが記述されていることを確認します。
- ノード名が /etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。

5 bootp を使用した場合は、bootp が有効になっていることを確認します。

6 ホストコンピュータと本機が、どちらも同じサブネット上に存在することを確認します。

サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルータが設定されていることを確認します。

LPR（BLP）での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows® 98/98SE/Me で、LPR（BLP）での TCP/IP ピアツーピア印刷に問題がある場合は、以下の手順で確認します。

1 「Windows®98/98SE/Me の場合」P.1-2-10の説明に従って、ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認します。

2 プリンタドライバのプロパティの［ポートの設定］でバイトカウントを有効にします。

ブラザーピアツーピア印刷ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。

第1部 Windows®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第2部 Macintosh®編
第1章 基礎
第2章 プリンタ
第3章 PC-FAX
第3部 こんなときは
第1章 設定変更
第2章 IPアドレス
第3章 トラブル対応
第4章 付録

その他の問題

その他に問題が発生する場合は、以下の手順で確認します。

1 容量の小さいジョブは正しく印刷でき、グラフィックなど容量の大きいジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、プリンタに搭載されているメモリの容量や、最新のプリンタドライバがパソコンにインストールされているかどうかを確認します。

プリンタの最新ドライバは、ブラザーソリューションセンター (**http://solutions.brother.co.jp**) からダウンロードできます。

2 その他、まれに発生する問題の原因は、「プロトコル固有の問題」P.3-3-5をご覧ください。

3 Windows® XP で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合、以下のような制限が発生します。

● BRAdmin Professional	全ての機能が利用できません。
● ネットワークスキャナ	本機の [スキャン] による以下の機能が利用できません。 ・スキャンイメージ ・スキャン OCR ・スキャンファイル

これらの機能を利用する場合は、以下の手順でファイアウォール機能を無効にする必要があります。

① コントロールパネルから、［ネットワーク接続］をクリックする
② 使用しているネットワークアイコン (ローカルエリア接続など) を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
③「詳細設定」タブをクリックする
④［インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する］のチェックボックスを OFF にする

なお、ローカルネットワークで複数の Windows® XP をインストールしたパソコンから本機を利用する場合、それぞれのパソコンに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合は Windows® XP のファイアウォール機能を全て無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。



スキャン E メールや Presto! ® PageManager ® の利用について

ファイアウォール機能によって制限を受けるのは、本機からパソコンへリクエストを送信したときです。パソコンから本機へリクエストを送信する Presto! ® PageManager ® のネットワークスキャンや、ネットワークボード設定の Web マネジメント、ネットワークプリント、Telnet などは利用できます。スキャン E メールもメールサーバへリクエストを送信するため、影響はありません。

4 市販のパーソナルファイアウォール機能があるソフトウェアをご利用の場合も、Windows® XP と同様の影響を受ける可能性があります。詳しい設定方法についてはソフトウェア提供元へご相談ください。

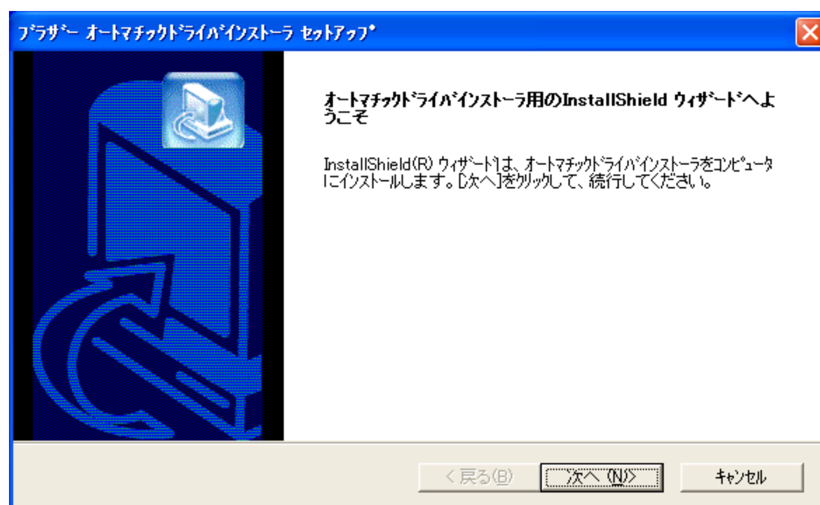
第 4 章 付録

オートマチックドライバインストーラを使う

プリンタドライバをご使用の設定に合わせて作成するツールです。ネットワーク接続で使用するオリジナルドライバを作成でき、ユーザに配布することができます。配布インストーラは、OS ごとの作成が必要です。
プリンタドライバとソフトウェア（ピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタドライバの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアは Windows® 専用です。

対応ポート	OS
LPR	Windows® 98/98SE/Me/2000/XP

同梱の CD-ROM 内の「追加ソフトウェア」メニューから「オートマチックドライバインストーラ」を起動します。画面の内容をよくお読みになり指示に従って操作してください。




本機ではパラレルポートおよび IPP はサポートしていません。

サービスの使用

ネットワークプリンタが同一ネットワーク上に接続されたコンピュータに提供する印刷リソースをサービスと呼びます。
ネットワークには、以下の定義済みサービスが用意されています。BRAdmin Professional の右画面でノード名を選び、右クリックして表示されるメニューから［プリントサーバ設定］を選ぶと、使用できるサービスのリストが表示されます。
このとき、本機のパスワードを入力する必要があります。
お買い上げ時のパスワードは「access」です。

メモ
BRAdmin Professional を使ったネットワーク設定について、詳しくは「ネットワークインターフェースを設定する」をご覧ください。P.1-2-3

サービス	説明
BINARY_P1	TCP/IP バイナリサービス
TEXT_P1	TCP/IP テキストサービス（LF の後に CR を追加）
BRN_xxxxxx_P1	NetWare サービスおよび Mac OS® X 10.2.4 以降の mDNS サービス（TCP/IP バイナリサービスでも使用可能）

xxxxxx はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 文字です（BRN_310107_P1 など）。

ファームウェアのアップデート

概要

本機のファームウェアは、フラッシュメモリに格納されています。そのため、適合するアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアのアップデートを行うことができます。最新のファームウェアアップデートファイルを入手する場合は、以下のホームページを参照してください。
ブラザーソリューションセンター (**http://solutions.brother.co.jp/**)



用意されているソフトウェアバージョンによっては、新しい機能を本機に追加するために、本機の設定が自動的に工場出荷時の設定にリセットされることがあります。そのため、ファームウェアのアップデートを実行する前に LAN 設定内容リストを印刷し、本機の現在の設定を必ず記録に残しておいてください。「LAN 設定内容リストの出力」P.3-1-16 をご覧ください。

ファームウェアのアップデート方法

BRAdmin Professional を使用する

BRAdmin Professional を使用すると、ファームウェアを簡単にアップデートできます。
BRAdmin Professional のインストールについては「BRAdmin Professional をインストールする」P.1-2-2 をご覧ください。

1 BRAdmin Professional を起動します。

2 目的のネットワークプリンタを選びます。

3 ［コントロール］メニューの［ファームウェアのロード］を選びます。
複数のネットワークインターフェースを選択するには、<CTRL> キーまたは <SHIFT> キーを押したまま、必要なネットワークインターフェースを選択します。

4 次の方法で、新しいファームウェアアップデートファイルを本機に送ります。
このとき、本機のパスワードを入力する必要があります。本機の初期設定のパスワードは“access”です。

TFTP PUT（ホストから）

1. 「TFTP PUT（この PC からのアップデート）」を選び、［OK］をクリックします。
   このとき、本機のパスワードの入力が必要です。
2. ファームウェアファイル名を指定して［ロード］をクリックします。
   BRAdmin Professional は TFTP プロトコルを使用して本機のファームウェアをアップデートします。



TFTP PUT 以外の方法ではアップデートできません。

ファームウェアのアップデート時の注意

プログラムが終了すると自動的に本機が再起動します。再起動が完了するまで、絶対に本機の電源を切らないでください。

約 2 分経過しても再起動しない場合は、入力したパラメータが正しいかどうか、およびネットワーク接続が良好かどうかを確認してください。もう一度本機の電源を入れ直し、ダウンロードを実行します。



ファームウェアのアップデートで問題が発生し、本機のネットワーク関連機能が動作していない場合は、再度ファームウェアのアップデートを実行する必要があります。

用語集

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。銅線の一般加入者電話 (アナログ) 回線を利用して、数 M 〜数＋ Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式です。

● APIPA

Automatic Private IP Addressing の略。IP アドレスの自動的な割り当て管理機能です。最初に自身のシステムに割り当てる IP アドレスを「169.254.1.0 〜 169.254.254.255 」の範囲からランダムに 1 つ選びます。そして、ARP 要求をネットワークにブロードキャストすることによって、その IP アドレスがほかのシステムで利用されていないかどうかを確認します。もし他のシステムから ARP の応答が返ってくれば、その IP アドレスは使用中であるとみなし、別の IP アドレスで再試行します。このようにして未使用の IP アドレスを見つけ、自身のシステムに割り当てることによって、IP アドレスが重複しないことを保障します。

● ARP

Address Resolution Protocol の略。IP アドレスから Ethernet アドレス (MAC アドレス) を求めるためのプロトコルです。

● BOOTP

BOOTstrap Protocol の略。ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。BOOTP を利用すれば、ネットワーククライアントの IP アドレスやホスト名、ドメイン名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスなどの情報を、クライアントの起動時に動的に割り当てられるようになります。TCP/IP ネットワークでは、各クライアントごとにこれらのネットワーク情報を設定する必要がありますが、BOOTP を利用すれば、クライアントの管理をサーバ側で集中的に行えるようになります。その後一部を改良された DHCP が開発され、広く利用されるようになっています。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。DHCP は、IP アドレスやサーバアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP （BOOTstrap Protocol ）をベースとする上位互換規格です。
BOOTP は、クライアントの IP アドレスやホスト名などはあらかじめ決定しておく必要がありましたが、DHCP では、クライアントがネットワークに参加するためのすべてのパラメータ（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ドメイン名など）を動的に割り当てられるようになっています。サービスを実行するにはサーバもしくは、その機能を有するルータが必要です。

● DNS サーバ

Domain Name System という体系で命名されたホスト名 (ドメイン名) から IP アドレスを調べるためのサービスです。ネットワーク上の資源を管理・検索するためのシステムです。インターネットの IP アドレスの名前の解決に広く利用されています。

● FTTH

Fiber To The Home の略。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバ化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称です。

LAN
Local Area Network の略。同一フロア、同一のビル内などにあるコンピュータ同士を、Ethernet などの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークという位置付けがあります。

mDNS (multicast DNS)
DNS サーバが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントコンピュータがネットワーク上に存在する機器を名前で検索して利用できるようにする機能です。Apple Mac OS X の簡易ネットワーク設定機能などで使われています。

ping
Packet InterNetwork Groper の略。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

RARP
Reverse Address Resolution Protocol の略。TCP/IP ネットワークにおいて、Ethernet の物理アドレス (MAC アドレス) から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

SOHO
Small Office / Home Office の略。小人数のオフィスや、家庭で仕事をする個人事業者を指す言葉です。大企業と対照的に使用されることが多いようです。

TCP/IP
Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト (アプリケーション) を特定して通信路を確立するするプロトコル (TCP) と、通信経路 (IP) から構成されています。OSI 参照モデルでは TCP はレイヤー 4 、IP はレイヤー 3 に対応しています。

WINS
Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、ネームサーバを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバが必要です

WWW
World Wide Web の略。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

イーサネットアドレス (MAC アドレス)
OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェースカードのアドレス。MAC アドレスとも呼ばれています。Media Access Control の略。機器内部に記憶されているので、ユーザが変更することはできません。

カテゴリ
LAN ケーブルの品質を指します。カテゴリ 5 は 100BASE-TX で利用されています。将来ギガビット・イーサネット (1000BASE-T) によるネットワークを想定する場合は、カテゴリ 6 を選択することが推奨されています。カテゴリ 5 で保証される周波数帯域は 100MHz までですが、カテゴリ 6 では 250MHz まで保証されています。また、LAN ケーブルは UTP ケーブルと呼ばれる場合もあり、UTP は Unshielded Twisted Pair の略でより線のことを指しています。シールド付きのものは、STP ケーブルと呼ばれます。

●ゲートウェイアドレス

ネットワークとネットワークを接続する際の、外部のネットワークとの接点となるホストの IP アドレスを指します。別名「デフォルトルータ」や、単に「ルータ」と呼ばれる場合もあります。ルータは、同一ネットワーク内に存在するホストである面と、他のネットワークにも同時に所属している両面を持っています。

●サブネットマスク

ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。サブネットマスクはクラスごとに固定されています。

クラス A	255.000.000.000
クラス B	255.255.000.000
クラス C	255.255.255.000

ルータの取扱説明書によっては、192.168.1.1 / 255.255.255.0 のことを、192.168.1.1/24 と表記している場合があります。255.255.255.0 を 2 進数に換算すると、先頭から 1 が 24 個並びます。"/24" とは、この事を指します。24bit 以外のマスク値を設定することも可能ですが、IP 管理が複雑になりますので、マスク値は 24bit でご利用することをお勧めします。なお、ローカルネットワークで利用する IP アドレスのことをプライベート IP アドレスと呼び、こちらもクラスがわかれています。

クラス A	010.000.000.000 ～ 010.255.255.255
クラス B	172.016.000.000 ～ 172.031.255.255
クラス C	192.168.000.000 ～ 192.168.255.255

●スイッチング・ハブ

スイッチング機能を持つハブ（集線装置）。パケットをその宛先に応じて振り分け、ネットワークトラフィックを局所化して、ネットワークの全体的な通信バンド幅を増やすことができるのが特徴です。10BASE-T や 100BASE-TX などのネットワークでは、各ネットワーク機器同士をハブを使って相互に接続していますが、Ethernet の通信方式の関係上、ノード数が増えると有効な帯域幅が急速に飽和するという特性を持っています。そこで、実際に通信をするポート同士だけを直結して通信を行い、それ以外のポートへは流れないようにするスイッチング技術が開発されました。これを実装したハブをスイッチング・ハブといいます。

●ノード

node 。ネットワークに接続されているコンピュータなどの機器を指します。「ノード名」と「ホスト名」は同じ意味です。

●ルータ

ネットワーク間 (LAN と LAN 、LAN と WAN) の接続を行うネットワーク機器の一つです。ルータはインターネット接続されたアドレスを変換し、LAN 内からアクセスできるようにしたり、LAN 内のサーバを指定したポートを通じて外部に公開したりする NAT(アドレス変換) の機能があります。現在では有線に加え無線ルータなども使用されています。

索　引